

紀の川ダム統合管理事務所
資料配布

配布 日時	平成28年3月9日(水) 14時00分
----------	------------------------

件名	<p align="center">子供達の優秀作品が勢ぞろい ～大滝ダム「ダム見学新聞」コンクールの表彰式を開催～</p>
----	---

概要	<p>大滝ダム「ダム見学新聞」コンクールは、「大滝ダム・学べる防災ステーション」に訪れた子供達が、大滝ダムや水源地である川上村について、見たこと、学んだこと、感じたことを自ら企画・編集して「ダム見学新聞」にまとめることで、「大滝ダムの役割」や「人と水との深い関わり」を考えてもらうことを目的として、校外学習を支援しています。今年で20周年を迎え1008作品もの多数の応募があり、その内優秀な20作品、学校賞1校を表彰するものです。</p> <p>表彰日時 平成28年3月13日(日) 13:30～14:30 表彰場所 大滝ダム・学べる防災ステーション 奈良県吉野郡川上村大字大滝 ※当日、表彰場所に入賞者の作品を展示します。</p> <p>主催 国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 後援 奈良県教育委員会、川上村、川上村教育委員会、 大滝ダム活用促進協議会</p>
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	奈良県政クラブ 五條市政記者クラブ
------	----------------------

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 副所長 三上 俊郎 建設専門官 米村 克己 電話 0747-25-3013
------	---

子供達の優秀作品が勢ぞろい

～大滝ダム「ダム見学新聞」コンクールの表彰式を開催～

1、開催主旨

大滝ダム「ダム見学新聞」コンクールは、「大滝ダム・学べる防災ステーション」に訪れた子供達が、大滝ダムや水源地である川上村について、見たこと、学んだこと、感じたことを自ら企画・編集して「ダム見学新聞」にまとめることで、「大滝ダムの役割」や「人と水との深い関わり」を考えてもらうことを目的として、校外学習を支援しています。今年で20周年を迎え1008作品もの多数の応募があり、その内優秀な20作品、学校賞1校を表彰するものです。

2、開催概要

1. 表彰日時

○平成28年3月13日（日） 13：30～14：30

2. 表彰場所

○大滝ダム・学べる防災ステーション（奈良県吉野郡川上村大字大滝）

当日の問い合わせ先：（0746）53-2372（9：30～14：30）

3. 開催内容

○大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール表彰式

4. 入賞作品

○平成28年1月31日（日）に『大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール審査会』を開催し、参加学校数19校（奈良県18校、和歌山県1校）、1008作品の応募の中から優秀な20作品、学校賞1校が選定されました。

入賞作品部門：奈良県知事賞

川上村村長賞

近畿地方整備局長賞

奈良県教育委員会教育長賞

川上村教育委員会教育長賞

大滝ダム活用促進協議会長賞

紀の川ダム統合管理事務所長賞

審査委員長特別賞

他

今年度の応募概要：参加学校数19校（奈良県18校、和歌山県1校）
応募作品数1008作品（受賞20作品及び学校賞1校）

○大滝ダム・学べる防災ステーション「ダム見学新聞」コンクール審査会

審査委員：審査委員長 岸本 憲一良

（山口大学教育学部教授・附属山口中学校校長）

審査員 向井 英彌

（元 奈良県吉野町立吉野山小学校校長）

審査員 田中 幸臣

（奈良市教育委員会教育セクター教育支援課特任指導主事）

審査員 太田 圭悟

（奈良県平群町立平群北小学校教頭）

審査員 山崎 則男

（奈良県地域振興部地域政策課水循環推進係係長）

審査員 富倉 勇

（奈良県教育委員会事務局学校教育課義務教育係指導主事）

審査員 今福 和男

（奈良県吉野郡川上村水源地課課長補佐）

審査員 熊谷 啓子

（川上村立川上小学校校長）

審査員 梅敷 寛

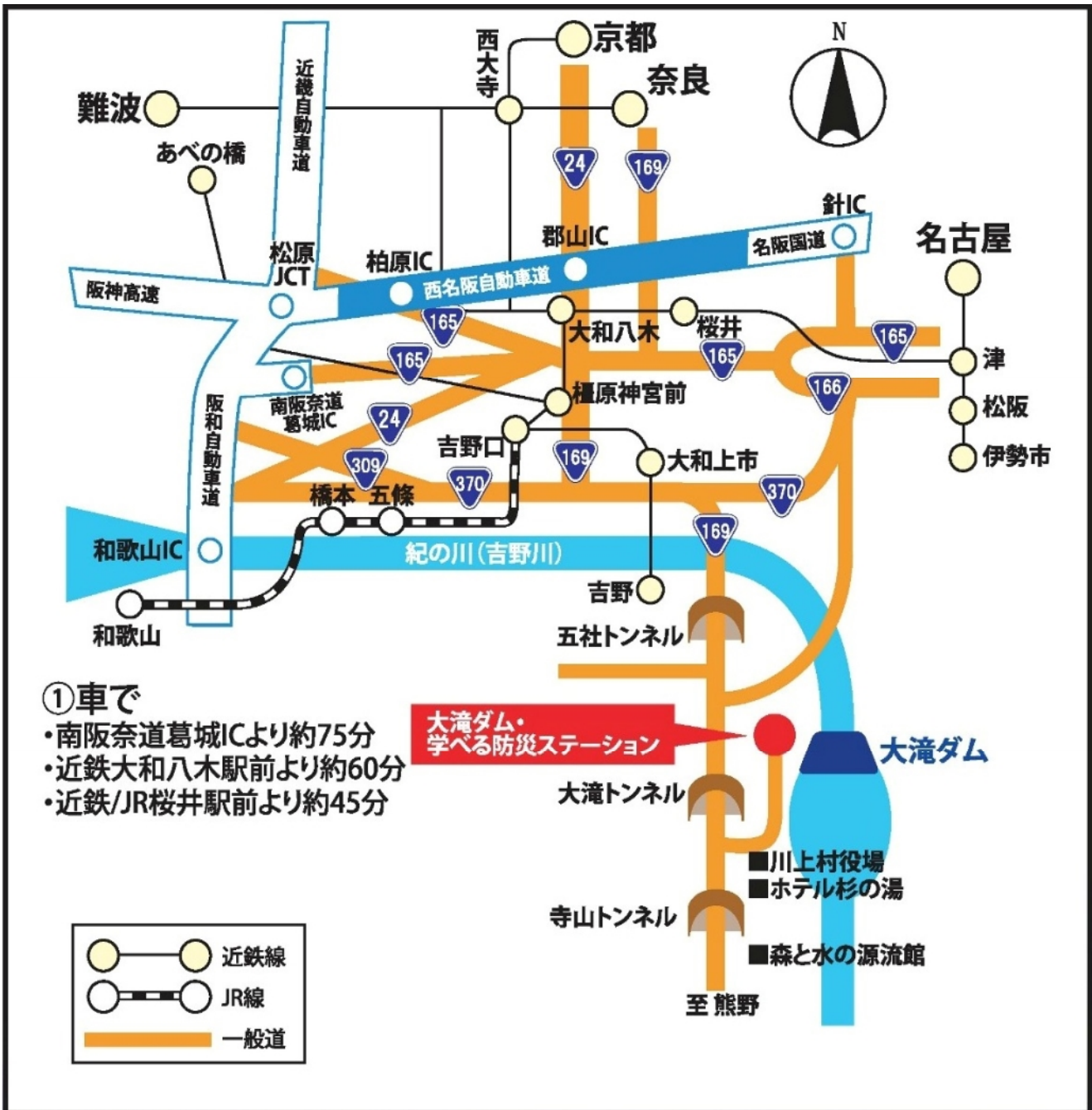
（国土交通省紀の川ダム統合管理事務所長）

5. 主催：国土交通省 紀の川ダム統合管理事務所
後援：奈良県教育委員会、川上村、川上村教育委員会、
大滝ダム活用促進協議会

3、経緯

- 平成8年度に当時の建設省近畿地方建設局大滝ダム工事事務所の主催により奈良県教育界と協力して、初めて水と土木とダムについて「見て、さわり、自ら考える」体験学習施設として大滝ダム・学べる建設ステーションがスタート。校外学習で感じた事等を学校の授業の中で「ダム見学新聞」としてまとめた作品を表彰するための「ダム見学新聞」コンクールを開催。
- 大滝ダムが平成24年度に完成したことから施設の一部を更新し、ダムの役割を理解し、防災を啓発する場としてダム本体も活用し、地域のイベントとも連携しつつ積極的な広報活動を実施。
- 平成28年12月末までに、延べ参加学校数318校、延べ応募作品数18,644作品に至る。

地図



- ・お車をご利用の方
国道169号線沿い大滝トンネルから大台ヶ原方面へ約5分。

問い合わせ先：国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所

副所長 三上 俊郎

建設専門官 米村 克己

電話 0747-25-3013